

御嶽山山頂周辺での自然電位マッピングと東麓での地電位差連続観測について Self-potential mapping around the summit area of Ontake volcano and continuous telluric observations

吉村 令慧^{1*}; 岡田 靖章¹; 山崎 健一¹

YOSHIMURA, Ryokei^{1*}; OKADA, Yasuaki¹; YAMAZAKI, Ken'ichi¹

¹ 京都大学防災研究所

¹ Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

2005年および2006年の夏季に実施した御嶽山山頂周辺の自然電位マッピングの結果と2014年9月27日に発生した水蒸気爆発の位置関係を対比するとともに、その位置について事前に予測することが可能であったかを検討する。加えて2003年～2005年にかけて行った御嶽山東麓の自然電位マッピングの結果と2007年2月から継続している東麓でのNTT専用電話回線を利用した長基線電位差連続観測の現状を紹介し、水蒸気爆発前後の変化の有無について報告する。

キーワード: 自然電位, 御嶽山, 連続電位差観測

Keywords: Self-potential, Ontake volcano, continuous telluric observations